

5章 洗礼について

1. 洗礼はイエス様に従うことです

十字架の死から復活されたイエス様は弟子達に次のように命じられました。

「父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受けなさい。」マタイ 28:19

ですから、洗礼を受けるということは、キリストの御命令に従うことで、キリストへの従順の第一歩といえます。また、「信じてバプテスマを受ける者は救われます」マルコ 16:16 といっておられます。

2. 洗礼の意味

洗礼(バプテスマ)には、どんな意味があるのでしょうか。

洗礼・バプテスマとは「ぬらす、浸す」という意味の言葉です。洗礼は、私たちの罪を背負って十字架の上で死なれたイエス・キリストとともに死んで、よみがえられたキリストと共に新しい命に生きることを象徴するものです。

それゆえ、聖書は主イエス・キリストを信じたものが洗礼を受けるのは当然のこととして教えています。洗礼を受けることは主イエスの御命令に基づくことです。マタイ 3:13-17 を見ると、イエス様ご自身も洗礼をお受けになっておられます。信じるものの模範となられたのです。

初代教会の使徒たちも、主イエスを信じた者に洗礼を勧め、授けていたのです。洗礼の決心は、主に喜ばれることで、あなたの人生における神の素晴らしい祝福の一ページです。ですから、主イエス・キリストに対する信仰を告白したあなたは、ためらわずに決心をしましょう。主の招きのことばに心を留めましょう。

.....

さあ、なぜためらっているのですか。立ちなさい。その御名を呼んでバプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。

使徒 22:16

主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます。

使徒 16:31

.....

あなたが教会に来られ、洗礼を決心されるまでに至ったということは、あなたを通してあなたの家族、親族、友人に祝福がもたらされるという、素晴らしい約束が与えられたということなのです。そのことを神様に感謝しつつ、祈ってしたがって行くことが大切です。戦いがあっても、道が平坦でなくても、主のみことばの約束は、信じるものには必ず成就するのです。

3. 洗礼の意義

① 洗礼についての聖書の教え：みことばを書いてください

a. マルコ 16:16

b. ローマ 6:3-5

c. I ペテロ 3:21

② 洗礼の意義

a. 洗礼は、私たちの罪を背負って十字架の上で死なれたイエス・キリストとともに死んで、よみがえられたキリストと共に新しい命に生きることを象徴するものです。ですから、私は救い主イエス・キリストの十字架で共に死、また、水をくぐることを通して、キリストの復活の新しい命に生きていることを意味しています。

b. 洗礼は、身代わりとなって十字架に死に三日目に復活なされたイエス・キリストを、あなた自身が信じていることの証しです。

c. 洗礼は、あなた自身の判断によってイエス・キリストに従っていくことの初めの行動です。

4. バプテスマを受ける資格

「ペテロは、…ことばをもって、証しし、…彼らに勧めた。
そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。……。そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。」

使徒 2:40-42

<誤解>

- ① 善い人間になってから受ける？
- ② 受けたら、聖人・君子の生活をしなければならない？
- ③ お嫁のもらい手がなくなるのでは？
- ④ 世の中の付き合いが悪くなり、出世できないのでは？
- ⑤ 長い間教会に通っていたので受ける？

聖書には「彼のことばを受け入れた（深い納得、同意、信頼、信仰）」者がバプテスマを受けた」とあります。ですから、バプテスマを受ける資格とは、

- ① 聖書の教えに基づき、
 - ② 罪を真に心から悔い改め、
 - ③ イエス・キリストを救い主と信じること。
- 信仰、これ以外に条件はありません。

5. バプテスマを受けた人たちの生活は？

使徒 2:40-42 を開きましょう。バプテスマを受けた人々は、その後どのような生活をしていますか？ 42 節のみことばを書いてください。

① 使徒たちの教え（聖書）を堅く守る

「弟子」とは”学ぶ者”という語です。つまり、聖書を学ぶ者であること、これこそイエスさまについていく道では欠かせないものです。

② 交わりをし、パンを裂き、

これは、家の教会生活を中心にした互いに仕え合う生活です。宮で家々でパンを裂いていたと言うのは普段の生活の現場で助け合い交わりをしていたことを見るのです。

③ 祈りをしていた。

祈りは、私たちが霊的に神と交わることです。みことばを聞いて、自分のことばをもって応答するときです。初代の教会の生き生きとした力は、祈りによって裏付けられていました。

確認しましょう！

1. 適切なことばを選んでください

1) 洗礼は私を（ 拘束する ・ 祝福する ）ためのキリストの招きです。

2) （ 厳格な生活 ・ 本当の自由 ）は、キリストの中にあります。

3) 主イエス様ご自身も洗礼を受けられて、（ ご自分の罪の悔い改めの ・ 信じるものが従うように ）模範を残されました。初代教会の使徒たちも（ ）に洗礼を勧め、授けていました。

.....

2. マタイ 28:19、マルコ 16:16 を見ながら空欄に書き込んでください。

（ ）、（ ）、（ ）の御名によってバプテスマを授けなさい。（ ）でバプテスマを受けるものは救われます。

6. 証の書き方

神様があなたにしてくださった救いの恵みのわざを、感謝を持って証ししましょう。試問会のおときまで準備してください。洗礼式のおときにも使います。目安として原稿用紙3枚半くらいがよいでしょう。（3～4分間）

3つのポイント

- ① キリストを信じる前の自分について
- ② キリストを信じたおときのこと、そのきっかけ
- ③ キリストがあなたにしてくださったこと

■ あなたの救いに関する聖書箇所を引用することをお勧めします ■

宿題：

1. 洗礼についての聖書の教えの空欄を埋めてください。

マルコ 16:16

「信じて（ ）を受けるものは（ ）」

ローマ 6:3-5

「キリスト・イエスにつく（ ）を受けた私たちはみな、
 （ ）バプテスマを受けたものではありませんか。私たちは、キリス
 トの死にあずかるバプテスマによって、（ ）葬られたのです。
 それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から（ ）ように、
 私たちも、いのちにあって（ ）をするためです。」

1 ペテロ 3:21

「バプテスマは（ ）取り除くものではなく、正しい良心の
 （ ）であり、（ ）によるものです。」

② 洗礼の意義：洗礼の三つの意義について、自分の言葉で書いてください。

a.

b.

c.

6. 新しい生活：成長の五原則

救い主イエス・キリストを信じた時、私たちの新しい生活がスタートします。私たちは新しいいのちが与えられて、神の子どもとしての歩みの中で成長していくのです。しかし、この成長は、何もしないで身につくものではありません。あなたが神の子どもとして成長していくために、大切な5つのことがあります。

あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また教えられたとおりの信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。

コロサイ 2:6-7

1. 新しい歩みとは

分かち合い：

1) キリストを受け入れ新しい歩みが始まりました。コロサイ 2:6-7のみことばでは新しい歩みの為に、どんなことが勧められていますか？

2) あなたの新しい生活に、この勧めから具体的に何を受け取り実行しますか。

3) I コリント 3:5-7を読みましょう。私たちを成長させてくださるのは誰ですか？

2. 成長のための五つの原則

① 毎日、聖書を読むこと (II テモテ 3:14-15)

第一は神のことばである聖書を毎日読むことです。生まれたばかりの赤ちゃんにとって、ミルクは毎日必要なものです。同じように、主は私たちに「霊の乳である聖書をしたがい求めなさい」と勧めています。

- ① 観察：何と書いてあるか。
- ② 解釈：それはどういう意味か。
- ③ 適用：では、私はどうするとよいか。

を考えて読みましょう。

私たちにとって肉体の食物が毎日欠かせないように、神の子どもとしての霊的生活は、みことばの糧である聖書によって養われる必要があります。私たちの教会では聖書日課、「みことばの光」大人用と若い人向け用を用いて毎日聖書を読んでいます。私たちは、日々どのように生きてら良いか、その指針を聖書から受け取ることができます。聖書のことばを、天の父なる神から自分に送られた「愛のメッセージ」として受け取り、まず祈って聖書を開き、毎日少しずつ読み続けて下さい。今すぐ理解できないところがあっても、神は必ずわかる時を与えてくださいます。

② 毎日祈ること

神の子どもとして成長するために大切な第二のことは、毎日祈ることです。成長するために最も重要なものの一つが祈りです。私たちが祈りをはじめるとき、信仰生活は活発になり、祈りを怠るとき、信仰生活は衰えてくるものです。祈りは神との対話です。天におられる父なる神との交わりであり、語り合いなのです。神はあなたの祈り聞いてくださいます。

人生は喜ばしいときばかりではありません。悲しい日、嘆きのときもあります。そして誰にもすぐには、打ち明けることができない苦しみを経験することもあります。が、あらゆる場合に祈りなさい、と神様はおっしゃっています。祈りはわたしたちの生涯に大きな祝福をもたらします。祈りの態度については本当に自由です。ほとんど形式はありません。たった一つ大切なことは、キリストのみ名によって祈ることです。祈りの最後に「キリストのみ名によって祈ります」と締めくくります。聖書がそう教えているからです。

あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなた方の喜びが満ちたものとなるためです。

ヨハネ 16:24

あなた方がわたしの名によって求めることはなんでも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

ヨハネ 14:13

二人でも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。

マタイ 18:20

聖書を見ると祈りは、複数形で書かれているところが多い。個人で祈るだけでなく、家の教会の仲間や、兄弟姉妹と共に祈る時、尚、神の臨在を強く感じるものである。

キリストのみ名によって祈るというのは、わたしたちの祈りをキリストがとりなしてくださる、ということなのです。キリストは私たちの罪のために十字架にかかり、三日目によみがえり、天に昇り、今私たちのためにとりなしてくださいます。このキリストのとりなしのゆえに、私たちの祈りは力があるのです。どうぞキリストのみ名によって祈ってください。

お祈りの最後に用いる「アーメン」ということばは「真実。その通りです。」という意味です。ですから、「私のこの祈りの通りです。どうぞ、主よ。お聞きください。」ということが「アーメン」です。

③ 兄弟姉妹と交わること（ヘブル 10:25）

第三の原則は教会中心の生活をするということです。「家の教会」と主の日の礼拝への出席のために、まず時間を確保することです。

「家の教会」では、聖霊の臨在と互いの誠実な参加によって深い交わりをすることが出来ます。しかし、罪を赦されたといえ、罪を犯し易い人間の集まりであって、互いに励まし合う必要を持っています。キリストを中心に、お互い横の交わりの中で、私たちはいろんなことに気づかされます。クリスチャンの成長は、共同体、家の教会の親しい、正直な交わりによって促されます。聖書のみことばは共同体の交わりの中で、解き明かされ、受肉化されていくものです。神様はクリスチャンが1人ぼっちで生きるようにはデザインされませんでした。

この世には1人ではできないことが2つあります。一つは結婚、そしてもう一つはクリスチャンの成長です。私たちはお互いを必要としています。

「毎月の新月の祭りに、毎週の安息日に、すべての人が、わたしの前に礼拝に来る。」
と主はおおせられる。イザヤ 66:23

④ 証しをすること（使徒 1:8）

第四の原則は、イエス様とその救いを証しすることです。証という言葉そのものは、一般社会でも、身の潔白を証しするというようなことで使われてはいますが、クリスチャンにとっては、あくまでもイエス・キリストとの関係で使われています。

質問：証とは何ですか？使徒 4:20 から自分の言葉でまとめてください。

証しとは、あなたがイエス・キリストに出会って、どのように変えられたか、主イエスが何をしてくださったか、イエス・キリストを知る以前と以後の違い、自分の価値観、生き方の変化、また与えられた平安、喜びなどを伝えることです。一言で言うなら、自分を救ってくださったイエス・キリストを、他の人に紹介することです。いつも短く自分の証をまとめておいて話せるようにしておきましょう。

⑤ 日々従うこと(使徒 5:29)

第五の原則は、第一から第四までをも含めた意味で、日々神に従うことです。

新しい生活は主と共にスタートしますが、その後も、毎日神に聞き従うことによって成長していくのです。今までは、情報や自分の古い自我の声や、サタンの声に振り回され、神のみ声を聞かないで、生きていました。はじめた新しい生活は、聖書を通し、祈りを通し、兄弟姉妹との交わりを通して、瞬間瞬間、聖霊のみ声を聞いて従うこ生き方変わったのです。

ヨハネ 10:27「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。」

3. 確認しよう

1) I ペテロ 2:2 を読んで、下からふさわしいことばを選び、空欄に入れてください。

聖書は、生まれたばかりの赤ちゃんが、() ために、ミルクが毎日必要であるように、霊のいのちをいただいた私たちも、() である聖書を慕い求めなさい、と勧めています。私たちに() が毎日欠かせないように、霊的生活にはにこ とばの糧、聖書が必要です。

{ 霊の乳 ・ 肉体の糧 ・ 育つ }

聖書のことばを、天の父なる神から自分に送られた () として受け取り、まず() から聖書を開き、(毎日 ・ 読めるときに) 少しずつ読み続ける。

{ 祈って ・ 愛のメッセージ }

2) 新しい生活を確立していくための、最も重要なものの一つが祈りです。下からふさわしいことばを選び、祈りに関する次の文章を完成させてください。

私たちが祈りを始めるとき、信仰生活は（ ）になり、祈りを怠るとき、信仰生活は（ ）のです。祈りは神との（ ）です。

祈りは天におられる神との交わりであり、（ ）なのです。

人生は喜ばしいときばかりではありません。悲しい日、嘆きのときもあります。そして誰にもすぐには、打ち明けることができない苦しみを経験することもあります。（そのような時 ・ あらゆる時に）祈りなさい、と神様はおっしゃっています。祈りはわたしたちの生涯に大きな祝福をもたらします。祈りの態度については本当に自由です。ほとんど形式はありません。たった一つ大切なことは、（ ていねいに ・ 心から ・ キリストのみ名によって）祈ることです。ヨハネ 16:24 によれば、そうすることによって、私たちの祈りを（ ）が天の父にとりなしてくださいます。

{ 対話 ・ 活発 ・ 語り合い ・ 衰えてくる ・ キリスト }

宿題：

1)クリスチャンを成長させるのは誰ですか。 I コリント 3:5-7

2)成長に欠かせない5つの大切なこととは何ですか

①

②

③

④

⑤

3)クリスチャンの生きる目的は何ですか？(I コリント 6:20, I ヨハネ 3:2)

4)証しとは、あなたがイエス・キリストに出会って、どのように変えられたか、主イエスが何をしてくださったか、イエス・キリストを知る以前と以後の違い、自分の価値観、生き方の変化、また与えられた平安、喜びなどを伝えることです。一言で言うなら、自分を救ってくださったイエス・キリストを、他の人に紹介することです。

上の文章を読んで、空欄にふさわしい言葉を当てはめましょう。

●証しとは、()に出会ってどのように変えられたかを伝えることです。

●証しとは、()が何をしてくださったかを伝えることです。

●証しとは、()を知る以前と知った後の違いを伝えることです。

●証しとは、()によって与えられた、自分の価値観の変化、生き方の変化を伝えることです。

●証しとは、()によって与えられた平安、喜びを伝えることです。

●証しとは、自分を救ってくださった()を、他の人に紹介することです。

7章. 教会、家の教会について

1. 教会の語意

教会：エクレシヤ（共同体、民の集會に呼び出された者）

2. 聖書の教える教会

① キリストの体としての教会

コロサイ 1:18…「御子はそのからだである教会のかしらです。」

コロサイ 2:19…「からだ全体は、関節と筋によって養われ、結び合わされて、神によって成長させられるのです」

1コリント 12:27…そして、私たちは、そのからだの（ ）なの
です。

ローマ 12:4-8…私たちはキリストのからだの（ ）として様々
な働きを持っています。

このからだの器官としての働きが、（賜物）といわれています。そして、その賜物を
もちいて働くことが（奉仕）というものです。

② 神の家族としての教会

エペソ 2:19…あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同
じ国民であり、（ ）なのです。

ヨハネ 1:12…しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々に
は、（ ）特権をお与えになった。

③ キリストの花嫁としての教会

キリストと教会とは夫婦の関係にあるとたとえられています。

エペソ 5:22-33

エペソ 5:22 「妻たちよ。……従いなさい。」

エペソ 5:25 「夫たちよ。……愛しなさい。」

エペソ 5:33 「この奥義は偉大です。……キリストと教会とをさして言っているのです。」

このたとえによると、

- ・妻であり教会である私たちは、夫であるキリストに（ ）。
- ・妻であり教会である私たちは、夫であるキリストを（ ）。

キリストは、花嫁としての教会を愛し、私たちが愛してくださいました。そして、その愛はご自身をささげることを通して示されました。「25節」私たちの、教会は、このキリストの犠牲によって立てられているのです。

教会の起源はキリストにあり、キリストの教会なのです。つまり、この岩・「あなたは生ける神の御子イエス・キリストです」と、信仰の告白をする人々の集まりなのです。

3. 地上の教会…家の教会として

① 聖書は、教会に二つの面があると教えています。

- ・ ピリピ 1:1 すべての聖徒たち (教会)

┌ピリピにいる・・・見える教会(地上の・歴史上の教会)

「ピリピ」という町、その時代や文化習慣の中に立てられた教会。

└キリスト・イエスにある・・・イエスにある聖徒たち」として、
世の初めから世の終わりまでの、イエスに忠実に生きる信者の集り。天に挙げられた信じる者達

② ライフスタイル「家の教会」として

使徒2:42-47

- ・ 初代教会のクリスチャンたちは（ ）の教えを堅く守り。
（ ）をし、パンを裂き、（ ）をしていた。

42節

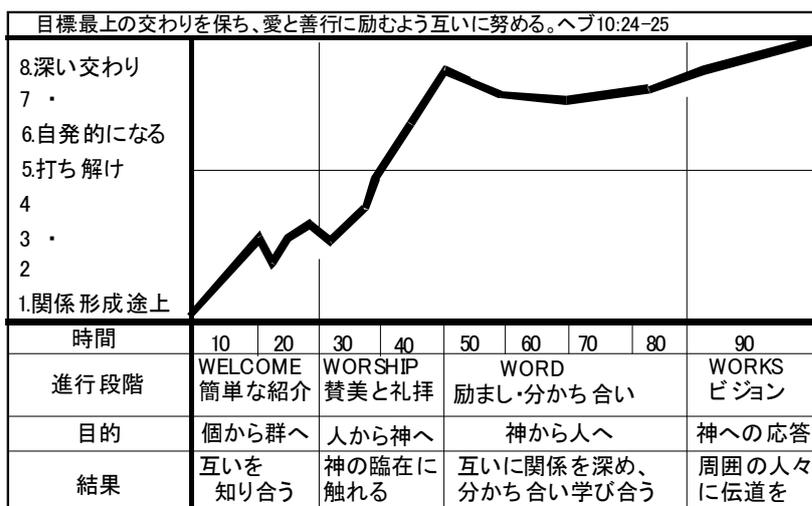
教会は、一同に会して「宮に集まる」こともしていたが、「家々でパンを裂き、食事を共にし、神を賛美して」集まっていました。それは彼らの生き方・ライフスタイルだったのです。(ローマ16:3,6、Iコリ16:19、コロサイ4:15、ピレモン1-2v)

聖書が示している教会は「家の教会」です。それは12人程度の小さな、親しい交わりです。互いが「霊的成長に仕え合う群れ」です。また、このような生き生きとした小さな交わりは、一人一人の賜物を活かし、「主は救われる人々を毎日仲間に加えてくださる」、いのちに満ちた「宣教の群れ」でもあります。

③ 家の教会の集まり

4W
(ヨン・ダブリュー)

週に一度、
時と所を決め
各「家の教会」で



4. クリスマンとは？

「彼らは教会に集まり、大勢の人たちを教えた。弟子たちは、アンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。」

(使徒 11 : 26)

当時「キリスト者」とは、「キリストのもの」、「キリスト一途の人たち」と言ったようなあだ名でした。アンテオケの町の人々は、「教会に集まる弟子たち」を見て、互いに愛し合う姿から、「キリストのような人たち」と呼びました。

クリスマンという言葉は聖書の中には3回しか出てきません。「使徒 11:26,26:28, I ペテロ 4:16」クリスマンとはイエスキリストを信じ、受け入れ、告白する人です。そしてクリスマンとはイエス・キリストに従う人である。

・どこの教会で始めて（キリスト者）と呼ばれたのでしょうか？
(エルサレム教会、ピリピ教会、アンテオケ教会、 グレースコミュニティ)

・地図でアンテオケ（教会）を確認しましょう

5. 教会の指導者・牧師

①牧師の働きとその特別な点

「キリストご自身が、……ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり…… エペソ 4:11-13

質問:エペソ 4:11-13 を読んで答えてください。

- 1) 誰が牧師を立てるのでしょうか

- 2) 神様から示されなくても、自分になりたいからといってできる仕事でしょうか

- 3) 聖書によると、神様は働き人にどんな使命を与えたのでしょうか？何を期待しているのでしょうか？優先すべき事項を選んでください。

人々の訪問、 伝道、 クリスチャンたちを祈りとみことばで整える、相談に乗る、説教をする、ビジョンを神から聞いて語る、人々を奉仕に整える、みことばを教える、神に聞く、自分で何でもやる、自分で神のみ心を聞ける信者として育つよう願って計画する。困っている人を助ける、賜物の発掘 ・その他

牧師は、キリストの直接の召しによって立てられるので、特別な賜物と言えます。みことばと祈りをもって仕える神の働き人です。

「私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。」

(使徒 6 : 1-6<4v>)

②牧師の具体的な働きを覚えて祈るものとなりましょう。

- a.教会のビジョンを明らかに示す (使徒 20 : 27.28)
- b.そのための方策を練る(IIテモ 4 : 2、 I コリ 9 : 23)
- c.魂を見張り、指導をする (ヘブル 13 : 17)
- d.聖徒たちを整え、教会を建て上げる (エペソ 4:12)

③牧師への尊敬と服従

a. I テモ 5:17-19

働きに尊敬を払い、経済的な面でも配慮をすることです。

b. I テサ 5 : 12-13

「主にある指導と訓戒」ゆえに「深い尊敬を払い」ます。

c.ヘブル 13:17

「言うことを聞き、服従しなさい…そうでないと、あなたがたの益にならないからです。」

牧師は、神と人(教会員)との間に立って指導し、とりなしをする「たましいの見張り人です」。

6. 教会の使命

①神の栄光をあらわすこと

「人間の第一にして最高の目的は、神の栄光をあらわし、かつ、永遠に神を全く喜ぶことである。」
(ウェストミンスター大教理問答)

②建て上げ（徳を高めること）

③伝道すること

教会の本質は生きていて生み出していく共同体である。共同体は神の生活様式を増殖させる場所である。神は創造者であり、再生産をしたいと願っておられます。

7. 恵みあふれる共同体として

質問：あなたは共同体、神の家族と聞くと、正直、心の中にどんな反応が起りますか？

安心する、気持ちが暗くなる、危険な感じを受ける、共同体の中に入れたい、拒絶感を覚える、守られている感じがして嬉しい。ありのままに入れる。本当の家族の実感を味わう、悲しくなる、逃げたくなる

共同体を立て上げ「家の教会」にいつも命が注がれるためには大切な要素がいくつかあります。

「もし、神が光の中におられるように、わたしたちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」

Ⅰヨハネ 1:7

心をオープンにすること、聖さを保つこと、罪を言い表すこと。

開かれた関係でいることは最も大切な要素である。お互いを隠しては共同体はできない。また、Ⅰヨハネ 2:9-11にあるように、兄弟姉妹を赦しあうこと、互いに赦しあうことが鍵である。もし、赦していないなら暗闇の中を歩いている。赦しは1回赦せばいいというものではない。赦すことは生き方であり、ライフスタイルであり、終わりはない。私たちはいつも赦さなければならない。赦さなければ共同体はできない。赦しのうちを歩いていこう。

また共同体だからこそ、親しい人々の中で、隠れた痛みなどが浮き彫りにされることが起きる。その時は愛を持って祈りのミニストリーで聖霊に探ってもらおう。安心して小さな群れ、家の教会を味わい、共同体に力強く働く聖霊に信頼し、たて上げるものとなろう。

8. グレースコミュニティと五つの鍵

Growig together	互いの成長に仕えあう生活.
Reaching out	家族や友人をイエス様に導く共同体.
Actively using our gifts	賜物が互いのために活かされる交わり.
Cell multiplication	いのちにあふれ成長し続ける、家の教会.
Equipping leaders	模範によってリーダーが育てられる群れ.

8. 弟子としての歩み

イエス様は信じたばかりの人々を次の段階に招いて、こう言われました。

もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたは本当に私の弟子です。

ヨハネ 8:31

1. イエスの弟子として

イエス様の大宣教命令を完成してください。マタイ 28:18-20

「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を
 ()

そして () バプテスマを受け、また、() があなたがたに命じておいた全ての事を守るように、彼らを ()

見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

考えよう：イエスは私たちに人々を弟子としなさいと命じられました。イエスを信じる決心者と弟子とは、どのように違うと思いますか。

2. イエスの弟子としての信仰、愛

質問：

1) キリストを信じることによってあなたは何を得ることができましたか。

ヨハネ 3：16、ヨハネ 10：27－28

2) キリストを信じることによってあなたの中に起る変化はどのようなことですか。Ⅱペテロ 1：4、Ⅱコリント 5：17

3) キリストの弟子とはどんな人のことでしょうか。

ヨハネ14：12

4) キリストとあなたの関係は、何にたとえられますか

(ア) エペソ2：20-22

(イ) エペソ5：30-31

(ウ) ヨハネ15：5

(エ) 1コリント12：27

5) キリストの弟子であることを何によって知ることができますか

ヨハネ13：34-35

この命令を実行するための原動力は何ですか？

6) 信仰によって受けた祝福が確実に成長するためには、どんな条件があるでしょうか。 ヨハネ8：31

3. 礼拝について

① その定義

「礼拝とは、神に向けられた誉れと崇敬のことである」 ジョン・マッカーサー
誉を与える、敬意を現す。共通することは（与える）という行為である。

② その内容

礼拝の内容を示している聖書のみことばを書いてください。

a.外的要素 ローマ14：18

b.内的要素 エペソ5:8-10

c.上の要素 ヘブル13:15

③ 霊的な礼拝

ローマ12:1

1 ペテロ2:5

④ 可視的礼拝

ヘブル13:15、ローマ12:1

使徒2:42,46,47

ヘブル10:24,25

分かち合い：

自分たちの礼拝において、どんなことを学びましたか？

4. 献金について

1)なぜ献金をするのか

① 詩篇24:1

私たちの持っているもの、いやわたし達自身も神のもので
私たちはそれをお返しするだけです。

② 創世記28：20－22

神様への誓願として。

③ IIコリント9：15

与えられているすべてに対する感謝として。

献金は、わたし達の神様に対する信仰と愛と献身のあらわれです。その気持ちでささげるものです。

2)十分の一献金について

十分の一について

私たちは一部（十分の一）を、それも最初の良いものを献げることによって「すべては主のものです。」と告白するのです。

十分の一は献金というより、「主のもの」(レビ 27:30)として、お返しすべきものなのです。

レビ記27：30

マラキ3：8－10

神様は献金の額を定めてはいません。けれども、すべては主のものです。

神様はその中の十分の一しか求めてはいません

あなたはこれに応えることができますか。

3)そのほかの献金の種類

① 礼拝献金・・毎週の礼拝時に

私たちが会衆として主の前に礼拝をささげるとき、そのことを通してわたし達は一つのからだとして一つの御霊を受け、一つの思いを抱き、地域に対して効果的な働きができるようになります。私たちは礼拝において、一つの会衆として主にささげものをささげるときを持ちます。それが礼拝献金です。

② 感謝献金

わたし達はうれしいとき、人をお祝いする心があるときに贈り物をします。子ども達の成長の節目節目、結婚の機会や家族を天国へ凱旋に見送ることができたとき、その感謝の思いを何よりも神様に向けるべきです。これが感謝献金です。

③ 指定献金

ときに神様は、わたし達の身のまわりの特定の主の働きやそれに携わる人々に対して、わたしたちの心に重荷を与えてくださいます。それは主が下さる重荷ですから大切にしましょう。よく主に聞いて、心に定めた金額を、喜びを持って、指定先を明記して主におささげしましょう。

4) 献金についての七つの原則

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ① 規則的にささげること | I コリント 16 : 2 |
| ② 収入に応じてささげること | ” |
| ③ 先にささげるものを分けておくこと | ” |
| ④ 惜しみなくささげること | II コリント 9 : 6, 7 |
| ⑤ 心で決めたとおりにささげること | ” |
| ⑥ 喜んでささげること | ” |
| ⑦ 信仰の確信をもってささげること | II コリント 9 : 8
マラキ 3 : 10 - 12 |

教会の具体的な働きは十分の一やそのほかの献金によって支えられます。ですからグレースコミュニティのメンバーは、この十分の一献金を心がけています。律法では有りませんが十分の一は一つの目安です。しかし、大切な目安です。天の祝福の窓があなたに対して開かれます。

5. 奉仕について

奉仕とは、私たちに与えられた賜物や時間、能力などを用いて主の働きをすることです。マタイ 25 : 14 - 30 を読むと、神様は私たち 1 人 1 人に、賜物を与えておられることと、その賜物を主の御心のために用いることを求めておられることが分かります。

私たちは家の教会の交わりの中で賜物を用いて宣教と立てあげに励みましょう。さらに公の礼拝においてさまざまな奉仕が必要です。教会はキリストの各器官が集まって、キリストのみこころをなし遂げるところです。神様のみこころがこの地になるように、取り組んでいきましょう。

宿題:

1) 礼拝について

① 定義

「

」

② 内容：礼拝における3つの要素は具体的にはどのようなものですか？

1) _____

2) _____

3) _____

③ 霊的な礼拝

霊的な礼拝の中心は（ ） ことです。

④ 可視的礼拝

ヘブル 13:15

「わたし達はキリストを通して、（ ）、すなわち（ ）くちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。」

使徒 2:46,47

「そして毎日、心を一つにして（ ）、家でパンを裂き、（ ）と（ ）をもって食事を共にし、（ ）すべての民に 好意を持たれた。」

2)献金について

- ① わたし達の所有物は、誰のものですか。
- ② なぜ献金をするのですか。
- ③ 十分の一献金の聖書箇所を2つ書いてください
- ④ 献金についての7つの原則を記してください

1)

2)

3)

4)

5)

6)

7)

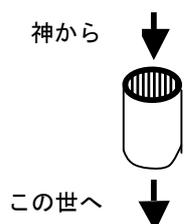
9. デボーション&導き

毎日、社会のめまぐるしい流れの中で生きている私たちが、社会の流れに流されることなく、しっかり信仰を保っていくためには、どうしてもデボーションを確立しなければなりません。

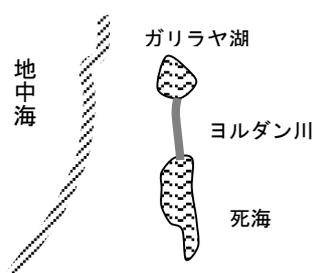
1. デボーションについて

1) デボーションとは

デボーションは、静思のとき、あるいは静聴のとき、と訳されます。神の前に静まり神との交わりのときを持つことです。



クリスチャンとは一本の管のようであると云われます。上の穴は神からの祝福を受ける為であり、下の穴は受けた祝福を世に流す為にある。もし、流せないでいるならば上からも入らない。



ex, ガリラヤ湖と死海の違い

ガリラヤ湖は水面下 211 メートルにある淡水湖。一方、死海は水面下 396 メートルにある海水湖である。ヨルダン川はこの二つの湖をつないで、延長 217 キロメートルの落差を流れ下る。つまり、流出しなければ、死の海と化す。同時に、上から入らなければ流しようもない。

2) デボーションの重要性

① 神ご自身が礼拝と交わりに招いておられる

ヨハネ 15：4――わたしにとどまりなさい。

1 コリ 1：9――主イエス・キリストとの交わりに入れられました。

1 テサ 5：17――絶えず祈りなさい。

エレミヤ 33：3――わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに

1 テモ 2：1～2――願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるように

② 霊的成長に欠かせないから

・神の御子イエス・キリスでさえ、決まった時に、かなり長い時間をかけて、唯一人で、父なる神と交わりを持つ必要を感じておられました。

イエスほど忙しい方があったでしょうか。主の一日は朝から晩まで群衆を教え、いやし、又個人的に語り合い、弟子の訓練等、一日のスケジュールはビッシリつまっていました。それにも関わらず、だからこそ！主は一人になって神と交わることを

必要とお認めになりました。

- ・教会の歴史を通して、神の為に大きな働きをした神の人の伝記によると、「イギリス国民への使徒」J. ウェスレーは他の何よりも祈りを自分の仕事と考えていたといわれる。
- ・宗教改革者マルチン・ルターは、大事な仕事のある日は、普段より長く神の前にデボーションを持ったといわれています。
- ・私たちも毎日の生活は本当に忙しいですね。しかも色々な問題が起ります。ですから、なおさらクリスチャンとしてデボーションを大切にすべきです。

3)デボーションの実際

詩篇 5：3――主よ、朝明けに私の声を聞いてください…

マタイ 14：22～23――祈るために、ひとりで山に登られた。

①一定の時間を決めること

マルコ 1：35――朝早くまだ暗いうちに…あなたがもっとも、自分で一人になれる時間を選びましょう。

②一定の場所を決めること

マタイ 14：23――イエスは祈るために、ひとりで山に…一人になれる場所は？

③聖書と祈りのノート、デボーションノートを用意して

神にお会いする時だから、心を落ち着け、期待しつつ臨む。

詩篇 46：10――やめよ<静まって>。わたしこそ神であることを知れ、

神様との1対1の親しい交わりであるデボーションのとき、神は喜ばれ待っておられ聞いてくださり、交わってくださいます。

④朝の15分があなたを変える

あなたが毎日デボーションのときを、15分とることができたら、あなたは変わります。できるだけその15分を、一日の始めにとって見てください。主イエス様との交わりから始める一日はきっと、今までと違ったものになるでしょう。なぜなら、あなたは、その日、誰に会うよりも先に、主にお目にかかるから。朝の15分はあなたを確実に変えて生きます。

最初は目標を15分から始め、次第に30分、そして1時間とするとよいでしょう。

分かち合い

- 1) 一緒に学んでいる人たちのデボーションの恵みを分かち合ってみましょう。

2) 空欄の中に、下から適切な言葉を選んで入れましょう。

- ① デボーションとは、神の前に、神との交わりのときを持つことです。具体的には、
 () を読み、みことばを黙想し、() ことです。
- ② デボーションは、ざわざわした所や忙しい時間にではなく、一人静かになれ
 () と () を選ぶことが大事です。
- ③ デボーションは、神様との1対1の () です。父なる神は、
 あなたが一人で祈る時、あなたの神として交わってくださいます。

[場所・親しい交わり・聖書・時間帯・祈る]

3) デボーションについて、良い姿勢に○をつけましょう

- () デボーションは、クリスチャンとして大事なことですが、学校や仕事があるので、できるときにします。
- () その日、誰に会うよりもまず初めに主イエス様にお目にかかり、これまでと違う一日を体験したいです。
- () 毎日の生活は、本当に忙しく、いろいろな問題が起ります。だから、デボーションは私には無理です。
- () 毎日の生活の中で、場所と時間を定めてデボーションを大事にしていくとき、クリスチャンの生活が築かれていきます。
- () 部屋は狭いし、子どもは小さくて、朝、神様との時間はなかなかとりにくいのですが、15分ならできそうです。やります。

2. 導きについて

神が最も忌嫌われることは、未信者の、不信仰ではなく、信じた者の不従順なのです。神は、人間が自由意志によって神に従う生活を送り、それを喜ぶようにお造りになりました。ところが、罪の墮落は人間の意志に腐れを生じさせ、神の御旨に従って生活する願いを最優先しなくなってしまう。

しかし、私たちの人生に対する神の目的は墮落以前と変わっていません。私たちが神の導きに従って生き、祝福を受けることであるのです。

1)導きの約束

イザ30：21…これが道だ。これに歩め。

詩篇32：8…行くべき道を教えよう。

ヨブ23：8-14

ヨブは初め、神の臨在を感じられなかった。(8-9v)

が、あくまでも忠実だった(10-12v)。

なお、ヨブは神が計画を持っておられ、それは必ずなると確信していた。(13-14v)

エレ29：11…平安を与える計画であり、

イザ58：11…主は絶えず、あなたを導き

イザ41：10…恐れるな。…ともにいる。

詩篇25：9，12…公義に導き、

箴言3：5-6…主はあなたの道をまっすぐにされる。

2)みこころをどのように知ることができるのか

①マタ6：6…あなたの意思を明け渡しなさい

自分の願いと神のみこころが必ずしも一致しているとは限らない。神が指示されたことに従おうと準備ができているならば、困難の90%は既に克服されていると言える。

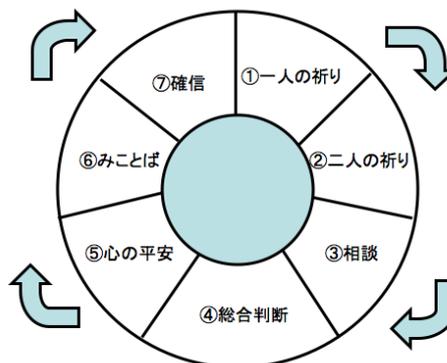
②マタイ18：19 祈る

一人で祈るだけではなく、家の教会、リーダーや牧師にも祈ってもらう。

③ ルカ11：1 更に祈り続ける

よく祈りなさい。イエス様は、どんなときにも絶えず祈られました。

特に導きを、それも重大な導きを求めるときは尚更のこと。多くの人に祈ってもらうとき、家の教会で、祈りの内容をよく話し、相談しいのりましょう。



④イザ30：21 神の摂理による環境の変化に注意しなさい

神は全てのものを支配為さっている方ゆえ、ご自分のみこころを示されるとき、私たちの住んでいる環境・状況をも導いて下さいます。

環境・状況の変化を正しく読むためには、常識と理性が必要。環境はみことばや御霊と関連して、神のみこころをはっきり示すことがしばしばあります。「みこころが示された。」とか「みこころだから私は・・・」ということばを使う人に対して、周囲からは何も言えないが、常識と理性によってチェックすることも大切です。

⑤エレ29：11 平安と希望があるか

心の平安もみこころを求める私たちの動機を確かめる上で重要です。ヤコ1：5－8。この時、感情に頼ってはいけません。みこころを求める時、その成り行きを感情や単なる印象に任せることは危険です。内的な平安を神は与えてくださいます。平安と希望が目安となることがあります。

⑥詩篇119：105 みことばを下さい

神のみことばである聖書によってみこころを求めなさい。

「みことばをください。」とハッキリと祈るべきです。毎日の規則正しい個人礼拝・デボーションの中から、あるいは日曜日の礼拝メッセージによって示されることが圧倒的に多いのです。それは、以前少しも注意を払わなかったみことばが新しい納得・感動をもって心に響いてくるようなことであつたり、新しい意味をもって迫ってくるようなことであつたりします。導きを求めるときこそ、より多く聖書を開いて神の声を聞きましょう。

⑦ヘブ10：36 忍耐 待つ 確信 実行

導きの最終的権威は神のことばです。忍耐をもって待つことが必要です。そして、確信したときはすぐに従いましょう。実行に移すときがきました。

祈りの答えは3通り

- ① はい
- ② いいえ
- ③ ちょっと待ちなさい

分かち合い

1) あなたは今日、神様の導きの約束を、聖書のどの言葉で受け取りますか。

2) 今まで神様からはっきり導かれたことを分かち合ってみてください。

宿題

1. デボーションについて

グレースコミュニティでは、デボーションの手引書として「みことばの光」・「マナ」を用いています。

あなたも実際にやってみましょう。

来週の洗礼クラスまでの1週間、その日のみことばと祈りをご記入ください。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

2. 導きについて

神は私たちの人生に伴われ導きを与えてくださいます。聖書から神様の導きの約束の箇所を3つ上げてください。

①

②

③